

SDGs推進に向けた北九州市の取り組み



平成29年7月7日
北九州市

1. コントラストのある施策

「元気発信！北九州」プラン
(北九州市基本構想・基本計画)
【平成20年12月～平成32年度】

総花的

環境未来都市

都市の特長を活用

「環境・社会・経済の未来価値創造の戦略的な展開」

- 2016年度「次世代育成環境ランキング」⇒ 政令市で、**6年連続「第1位」**
(NPO法人エガリテ大手前 調べ)
- 第1回「50歳から住みたい地方ランキング」⇒ 191市区町村で、**「第1位」**
(「田舎暮らしの本」(株)宝島社 H28.7.2発行)

■ 財政部局への説得

○ 「環境未来都市先導的モデル事業費補助金」の活用

(H23年度：6事業、H24年度：14事業。補助金総額：約3億500万円)

地域節電所



スマートコミュニティ創造事業

響灘ビオトープ



グリーンショールーム化事業

ふれあい花壇・菜園



まちの森プロジェクト事業

企業人による出前講演



経済界との連携による学校支援事業

勝山公園（健康遊具広場）



公園を活用した健康づくり事業

○ 「北九州市環境未来都市計画」に掲載された事業の推進

(H25年度以降、事業推進に伴う予算を要望)

2. 横断的施策の推進 ～部局の壁を越えた取り組み～



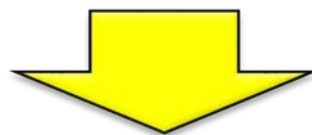
【環境・産業経済・港湾】



【上下水道・環境】



【建築都市・建設・環境】



横断的な取り組みの成果

G7 北九州エネルギー大臣会合

平成28年5月1日～2日開催

世界に認められた
「公害克服」



公害を乗り越え

「クリーンエネルギーの近代都市」へ



「環境未来都市北九州市」を世界に発信！

3. シビックプライド

北九州市は、高度経済成長期(1960年代)の「公害問題」や、鉄冷え(1980年代)の「産業構造の変化」により、政令市の中でいち早く、様々な課題に直面し、取り組んできた。

「環境の北九州」 (課題解決のモデル都市)

【本市の強み】

- 「ものづくり」の技術
- 「公害克服」の経験
- 「市民力」(市民団体・自治会・NPOなど)



「環境未来都市・北九州」へ

【環境対応】

- ① 都市の低炭素化・省エネ化
- ② アジアの環境保全
- ③ 自然環境・生物多様性の保全
- ④ 資源リサイクル拠点の形成

【超高齢化対応】

- ① 身近な地域で健康づくりの推進
- ② 救急医療・リハビリテーション体制の充実
- ③ 地域全体で子どもや高齢者を見守るしくみづくり
- ④ 安心して子育て・教育できる環境づくり

【国際環境ビジネス ・被災地復興支援】

- ① アジア低炭素化センターを核にした都市インフラの海外展開
- ② 被災地の復興を支援

地域を支える新たな仕組みづくり

【コンソーシアム、モデル事業（自治会ワークショップ）】

■ 地域課題 ⇒ 「社会的価値」分野の幅広い課題を包含

- ・ 地域課題は防犯・防災・高齢者対策・子育て・健康づくりなど多岐に渡り、質・量ともに増大
- ・ 少子高齢化に伴い、地域活動の担い手が不足

「環境未来都市」としての複合的・横断的なアプローチによる地域課題の解決

- ・ 1つの課題だけでなく、複数の課題に対する分野横断的な解決
- ・ 地域、NPO、企業など多様な主体が横断的に連携した課題解決

コンソーシアムでの議論



全13回の全体会議等において
議論・検討

モデル事業（ワークショップ）



複数の専門家による複眼的な視点を
踏まえたワークショップの実施

モデル事業（地域行事での実践）



親子で楽しみながら参加でき、
防犯にもつながる「親子大声大会」

■ 検討成果

⇒ 「提言」「マニュアル」「地域データ集」として取りまとめ、以下の施策を推進

○ 「モデル事業」の他地域への展開

- ・ まずは地域活動に参加してもらい、興味・関心の裾野を広げ、総合的な担い手として発掘・育成
- ・ NPOなど多様な主体が複眼的・横断的に地域を支える中間支援の仕組み

○ 「地域課題の見える化」の推進

- ・ 地域が自らの地域課題を把握し、自律的な活動につなげる「地域課題データ」の整備

1. 庁内体制

(1) 市役所幹部会での周知と実施要請

【開催概要】

- 開催日：平成29年7月3日(月)
- 参加者：市長、副市長、幹部職員（局長級）
- 内容：
 - ・SDGsに関する動向（国や他の地方自治体）
 - ・本市の取り組み（案）など



(2) SDGs 検討WGの設置及び開催

【開催概要】

- 開催日：平成29年7月10日(月)【予定】（以降、月1回程度開催予定）
- メンバー：関係局の担当課長
- 内容
 - ☆第1回：SDGs研修【講師：法政大学 川久保 特任講師】
 - ☆第2回～：SDGs達成に向けた先進的な取り組み(有識者会議の設置等)

2. 市民等への啓発

(1) 公開シンポジウムの開催

【開催概要】

「わが国のSDGs達成に向けた地域の取り組み」

- 開催日：平成29年6月3日（土）
- 会場：北九州国際会議場
- 主催：外務省、環境省、北九州市 ★2省と自治体が主催したのは全国初★
- 参加者：市民約500名
- 内容

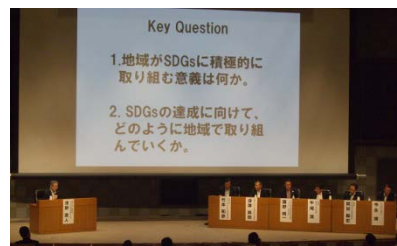
- ・基調講演「自治体にとってのSDGs-導入の意義、目的、方法-」
（一財）建築環境・省エネルギー機構理事長 村上周三 先生
- ・基調講演「環境首都グランド・デザインから見たSDGsと環境基本計画」
福岡大学名誉教授(北九州市環境審議会会長) 浅野直人 先生
- ・パネルディスカッション、総括 ほか



北橋市長挨拶



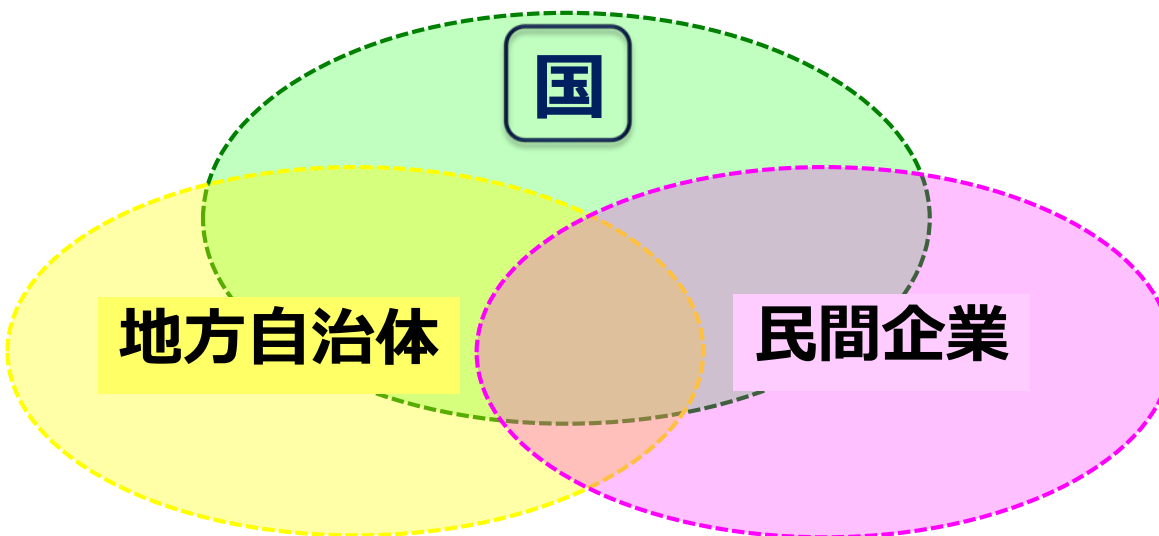
村上先生講演



パネルディスカッション

(2) 連携中枢都市圏での啓発 (周辺市町へのPR)

1. 全体戦略の必要性



各ステークホルダー
の
「役割分担」

2. 地方へのインセンティブ

- 自治体が「自主的・持続的に取り組む仕組み」の構築
 - ・SDGs 関連事業に対する財政的及び制度的支援
 - ・SDGs を市民へ普及啓発するための、各ステークホルダーとの連携支援

参 考 资 料

SDGsに関する本市の取り組み（1）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



共通の主な取り組み

SDGsの17のゴールの多くは、
北九州市の各施策と関連して
いる。



**SDGsの視点で
「捉え直す」**

<北九州市環境未来都市の主な取り組み>

- 北九州市地域エネルギー拠点化推進事業
- 城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業
- 日中大気汚染・省エネ対策共同事業
- 官民連携による海外水ビジネス
- 健康で元気な高齢者をつくる多世代交流事業

【環境：低炭素・省エネ】

【環境：低炭素・省エネ】

【環境：水・大気】

【国際環境ビジネス】

【超高齢化】

など

<これまでの本市の取り組み>

～ 国や他の地方自治体と情報共有 ～

- 環境未来都市（6都市）実務担当者会合への参加【2016年8月～】
- 「環境未来都市」構想推進協議会WGへの参加【2017年1月】
（主催：内閣府、提案都市：横浜市・北九州市）
☆テーマ「都市レベルでSDGsに取り組む「意義」と「課題」について」ほか
- 「日経イノベーションフォーラム」へパネリスト参加【2017年1月】
☆テーマ「環境未来都市が目指すSDGs 持続可能な開発をリードする地方自治体」
- 公開シンポジウム「わが国のSDGs達成に向けた地域の取り組み」を開催【2017年6月】（主催：外務省・環境省・北九州市）
- 「自治体SDGs推進のための有識者検討会」へオブザーバー参加【2017年6月～】（主催：内閣府）